

相撲をこよなく愛する3人のちょっと変わった作曲家ユニット「日本相撲聞芸術作曲家協議会」略して JACSHA による

さいたままで「相撲を聞く」音楽プロジェクトが動き出す！

日本に古くから伝わる神事・芸能・武芸である「相撲」。

さいたま市岩槻区には全国的にも珍しい古式土俵入りの伝統が残っています。

そんな相撲との縁が深いさいたまの人たちと一緒に、

相撲を愛する作曲家ユニット「JACSHA」が相撲という糸口から、

過去・現在・未来のさいたまに音で触れる新作を

「さいたまトリエンナーレ2016」に向けて創作します。

5月から毎月1回程、誰でも参加できるワークショップを行い、大相撲の呼出しさんや元力士から触れ太鼓や相撲甚句を教わり、その奥にある哲学や姿勢について考えながら、さいたまにあふれる音や音楽に耳を澄ませて、さいたまの「相撲聞」音楽を創っていきます。

少しでも興味を持った方、まずはワークショップに参加して、JACSHAと一緒に新しい音楽を発見しませんか？

日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA
Japan Association of Composers for Sumo Hearing Arts
鶴見幸代、野村誠、縦山智子



参加者募集中！
ワークショップ

さいたま触れ太鼓隊

さいたまトリエンナーレ2016アートプロジェクト

「さいたま触れ太鼓隊」ワークショップ (全4回)

第一回

5/14(土)
14:00-17:00

第二回

6/18(土)
14:00-17:00

第三回

7/26(火)
時間未定

第四回

7/27(水)
時間未定

途中の回からの参加もOK！
楽器が出来なくてもOK！
年齢不問！
親子の参加もOK！
楽器・音楽の経験者、
プロ・アマも大歓迎。
出演料もでないけど、
参加費もかかりません！

会場 |
岩槻駅東口コミュニティ
センター (ワッツ西館)
5Fミニホール

※6月以降のワークショップの場所・時間は、決まり次第
さいたまトリエンナーレ公式ウェブサイトやFacebookにて発表します。
会場は岩槻周辺を予定しています。

秋の大「触れ太鼓」大会 (仮称)

10/2(日)

ワークショップ参加者を中心に、
8月・9月中に創作・練習を行い、
みなさんと一緒に創った音楽を
さいたまのまちに出て演奏します。

日本相撲聞芸術作曲家協議会 (Japan Association of Composers for Sumo Hearing Arts、略してJACSHA=ジャクシャ) とは
神事であり、芸能であり、スポーツであり、エンターテインメントであり、
伝統であり、現代であり、文化であり、つまり智慧である相撲に耳を傾けること (相撲聞: すもうぶん) によって、
新たな芸術を創造する作曲家の協議会。
鶴見幸代、野村誠、縦山智子の3名を理事として2008年に設立。これまでに、「レッツ相撲ミュージック」(回向院)、「相撲聞芸術フォーラム」(谷中の家)、「相撲セミナー相撲と芸術」(HAPS)、「相撲聞芸術のひろみ」(アサヒ・アートスクエア)などを開催。



申し込み・お問い合わせ
E-mail jacsha@saitamatriennale.jp
Web <http://saitamatriennale.jp>

さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局
(さいたま市 スポーツ文化局 文化部 文化振興課 トリエンナーレ係)
Tel 048-829-1225 Fax 048-829-1996 (受付時間 平日 8:30~17:15)
E-mail bunka-shiko@city.saitama.lg.jp Web <http://saitamatriennale.jp>